

科目名	メディア情報工学実験 I	英文表記	Media Information Engineering Laboratory I	平成23年3月19日		
科目コード	2302					
教員名：西村 篤 技術職員名：なし				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
メディア情報工学科	2年	必	履修	4単位	演習	通年
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合		
	(1)短編の動画コンテンツの企画と制作を自分自身で行なえるようになる。(2)情報デザインという考え方を理解し、ユーザビリティ・アクセシビリティを含むコンテンツの質について配慮できるようになる。(3)メディアリテラシーという考え方を理解し、コンテンツの制作および運用における倫理的問題について配慮できるようになる。			作品 (40%) 作品制作レポート (50%) 参加姿勢 (10%) の合計点により評価する。 参加姿勢については毎回の提出する授業レポートの内容によって評価する。		
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学
	○	○	○	○	JABEEプログラム教育目標	対象外
授業概要、方針、履修上の注意	[概要] コンピュータを用いた動画コンテンツ制作の基礎的な技法について、音響データの扱いも含め、網羅的に学習する。[方針] まず、学生自身が「できるようになる」ことを目指す。次に、自分ができるようになったことを、一般的な知見とも関連づけて説明できること、また客観的に評価できることを目指す。[履修上の注意] (1)デザインとは個人個人の感覚や考え方を他者とのコミュニケーションの中で何らかの「かたち」として表現する作業であり、デザインの基礎は表現の方法のみならず、デザイナー自身の「感じる力」「考える力」「関わる力」にある。日常生活の中で、より多くの感動を得、より深く考え、より多くの人と関わりながら、学習を進めて欲しい。(2)長時間のコンピュータ作業は身体への負担が大きいので、体調を整えて授業に臨むこと。					
教科書・教材	講義資料・演習課題、その他授業に関わる情報を集約的に掲載した授業用ウェブページを教科書また教材の主な提供手段として使用する。演習データの保存には学科のネットワークストレージを使用する。ウェブページおよび演習データには、演習室、寮をはじめ学内のすべての場所からアクセスできる。					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
1	ガイダンス	4	この授業の内容・進め方、学習方法について、また演習室やウェブ教材の使い方について学ぶ。			
2	作品制作(1)	4	自己紹介をテーマにした30秒間の作品制作を通して、ビデオカメラの操作方法と撮影方法の基礎、また編集ソフト(Adobe Premiere Pro)の使い方について学ぶ。コンテの作成方法、インサート(音声トラックと映像トラックの分離)について理解を深めることを目標とする。自己紹介をテーマにすることにより、カメラを向けられることの心理的ストレスについて身を持って学び、撮影という行為が持つ倫理的な問題について理解を深める。			
3		4				
4		4				
5		4				
6	品評会(1)	4	作品を発表し相互に評価する。			
7	作品制作レポートの作成	4				
8	画像合成の方法の理解	4	テロップ、トランジション、キーフレームを使ったエフェクトのコントロール、Photoshopとの連携、などより高度な編集や合成の方法について学ぶ。			
9	作品制作(2)サイレントムービーの制作	4	実写映像とコンピュータグラフィックスを合成した映像によって構成される30秒～1分の映像(サイレント作品)を作成する。			
10		4				
11		4				
12		4				
13	品評会	4	品評会を行い、作品を相互に評価する。			
14		4				
15	作品制作レポート作成(3)	4				
16	サウンドトラックの作成方法	4	音響学の基礎、録音機の使い方、Adobe Premiereにおける音響データの扱い、ミキシングとサウンドエフェクト、などについて学ぶ。			
17	作品制作(3)音響作品の制作	4	音だけを使った30秒～1分の作品を制作する。			
18		4				
19		4				
20		4				
21	品評会(2)	4	品評会を行い、作品を相互に評価する。			
22	作品制作()グループ作品の制作	4	これまでの学習内容を応用してグループで1分から3分の映像作品を制作する。			

23		4	
24		4	
25		4	
26		4	
27		4	
28		4	
29	品評会	4	品評会を行い、作品を相互に評価する。
30	作品制作レポート作成(4)	4	
学習時間合計		120	実時間
			100
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など) 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要			

単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)